

# WEBINAR FRIDAYS

X線透視検査に関するトレンドから最新テクニックを学べるウェビナーシリーズ

## 腰椎分離症の診断・治療のエッセンス ー痛みの謎を解き明かすー



**日時** 2024年2月16日（金） 19:00～20:00

**座長** **梁川 範幸先生** つくば国際大学 医療保健学部 診療放射線学科 教授

**演者** **青木 保親先生** 独立行政法人 東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター 整形外科 部長

**登録** 本ウェビナーを視聴いただくには「事前登録」が必要になります。お手数ですが、下記①②のいずれかの方法でお申し込みください。お申し込み後、本セッション専用の「リンク」を送付いたします。

① Codeをスキャンする。



② URLをブラウザに入力する。

[https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/events/9297?utm\\_source=leaflet&utm\\_medium=qrcode&utm\\_campaign=fhc](https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/events/9297?utm_source=leaflet&utm_medium=qrcode&utm_campaign=fhc)

# 腰椎分離症の診断・治療のエッセンス

— 痛みの謎を解き明かす —

昨年度好評いただいた「若年者腰痛症の病態・診断・治療」の続編として、腰椎分離症にフォーカスした講演を開催します。

腰椎分離症の病態は急性期と慢性期に分かれ、急性期は腰椎関節突起間部の疲労骨折が主な病態となります。骨癒合が得られずに同部の骨連続性が断たれ、偽関節化した病態が慢性期となります。近年MRIによる早期診断が可能となり、急性期腰椎分離症の診断・治療において大きな進歩がありました。

急性期分離の治療には長期のスポーツ活動中止が必要であり、特に青少年スポーツ選手は治療を行わないことも含めて難しい選択を迫られます。一方、慢性期分離は痛みを伴わない場合もありますが、手術治療が必要となる重篤な症状を呈する場合もあり、いずれも治療方針の決定は容易ではありません。

この講演では、急性期分離の早期診断および治療法に焦点を当て、画像検査の重要性をわかりやすく解説します。そして、慢性期分離において痛みを生じる原因や加齢に伴う病態の変化についてもわかりやすく解説し、腰椎分離症に関する理解を深めていただきたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

青木 保親

## INFORMATION



- 本ウェビナーは「無料」でご視聴いただけます。
- 本ウェビナーは「事前登録制」です。表紙にあるURLまたは2次元コードよりお申し込みください。
- 詳細については、当社のウェブサイト（表紙にあるURLまたは2次元コード）をご参照ください。
- 講演中、ご質問を随時受け付けております。投稿者氏名は公開されませんのでチャットボックスにご投稿ください。
- 同業他社様のご視聴はご遠慮いただいております。予めご理解とご了承をお願いいたします。